

内軌道線との距離は約五〇〇米あり、又金驛に近き白銀停留場に於ては朝夕の混雑時には満員續きにて不利不便甚し依て兩軌道間の距離を接近せしめ前記停留場の混雑を可及的緩和し且金石線沿線の大小工場通勤の工員輸送に資する爲線路を延長せんとするものにして右は昭和十九年四月十八日付業監第四九九號を以て内務運輸通信兩大臣より認可ありたり。

自動車交通事業法に依る申請に對する處分

熊本縣

九州産業交通株式會社 大阿蘇交通株式會社

會社合併に因る自動車道事業承繼の件

大阿蘇交通株式會社經營自動車道事業を曩に交通事業の一元化に則り設立されたる九州産業交通株式會社に於て承繼せむとし本許可申請せるに對し四月二十四日付内務省熊國第四號を以て内務運輸通信兩大臣より認可ありたり。

雜報

◎道路功績者の表彰 本會道路功績者表彰規程に依り、左の通表彰

し關係地方廳に其の傳達方を依頼した。

靜岡縣(三月十日)

表彰狀

田方郡上狩野村道路愛護會

富士郡元吉原村道路愛護會

道路工夫 土屋長平

同 鹽川時次郎

同 金指力

同 長谷川滋雄

同 村松武雄

元靜岡縣地方事務官 海野彌之助

大阪府(三月二十日)

表彰狀一等功績章三ツ組木杯 修路工夫 稻葉仙太郎

德島縣(三月二十五日)

表彰狀一等功績章三ツ組木杯 道路工夫 川人卯市

同 瀧川勘次郎

表彰狀二等功績章單杯 同 住友萬次郎

同 同 正部常吉

同 同 丸山幸太郎

岐阜縣(三月三十一日)

表彰狀一等功績章三ツ組木杯 修路工夫 片倉太久藏

表彰狀二等功績章單杯 同 駕見房吉

同 同 淺野勘藏

同 同 籠原吉之助

同 同 横井平三郎

岡 山 縣 (四月二十九日)

表彰狀一等功績章三ツ組木杯

道路手 平松信次節

同

阿部 仲太郎

同

淺 圖 洋一

同

菱 川 鶴 吉

表彰狀二等功績章單杯

同

同

西 山 近 藏

同

佐 田 野 茂 八

同

岡 田 九 郎

同

兒 山 順 三

同

山 崎 宗 一

同

岡 浩

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

事が全然無に歸すること、等が考慮される。

道路 道路では重要施設の新設に伴ひ必要なもの、重要物資の輸送力増強に必要なもの、軍關係道路の三點に重點を置き計畫本數で約半數、豫算額で約一割の節減が行はれた。

◎石川縣下新川橋の竣工 石川縣が昭和十二年六月以來金澤築港の前提である大野川の河身改修を斷行したのであるがこれは同港が南風が續くと冬季間および稲作の成長する夏季間において河口が閉塞し沿岸が浸水するのでこれが除去と沿岸水田の水浸を防ぐための堤防築堤と日本海から逆流する鹽水を防ぐ、逆水門の築造であつた、總豫算百十萬圓を投じて着工以來時局もさほど緊迫してゐなかつた關係上意外な進捗を見てすでに河北瀧の須崎から大野川橋に至るまでの堤防も竣工し、粟崎町の新川橋を中心として築造された逆水門も去る三月三十一日竣工したが、これで本年度から残る事業としては支線の小逆水門設置と河口閉塞防除の突堤工事のみとなつたので改修事務所では逆水門の築造完成とともに附帯事業である新川橋の改修もやうやく竣工を見ただのでこのほど渡初め式を舉行して前途を祝福した。この新川橋は五郎島、粟崎兩町から金澤舊市域へ農作物を送るのに重要な役割を果すのみでなく舊瀧津、舊鞍月へ通ずる産業道路と相まつて決戦下に君臨することゝなつたもので昭和二十一年度で完了する河身改修工事とともに積極的な活用が各方面からはやくも要望せられてゐる。

◎理事評議員赤松小寅氏 本會理事評議員赤松小寅氏は四月二十五日死去、本會より弔辭及び花環を贈呈す。